



RI 2600 地区諏訪グループ

諏訪湖ロータリークラブ

会長/高山 巖 幹事/小口 直

例会木曜日 PM12:30 ぎん月 事務所 〒393-0031長野県諏訪郡下諏訪町御田町31566-1すてっぷカサイ内 TEL/0266-27-8455



<http://www.suwakorc.net>

Email: suwakorc@suwakorc.net

第1522回例会報告

平成29年 9月 21日 (木) 晴れ

会長挨拶

会長 高山 巖

★幹事報告

【報告事項】

本日第4回の理事会が開催されましたので、決定事項等、ご報告いたします。

①例会について

1. 10月5日 1524回例会は、3クラブ合同夜間例会となっております。

ライフプラザマリオにて、点鐘 6:30

2. 10月12日 1525回国際奉仕委員会担当例会は、米山奨学生 テウムルホヤグ エンプチメグさんを迎え、卓話いただきます。

3. 10月19日 1526回クラブ会報・雑誌 広報委員会担当例会は、会員卓話として河西達雄会員を講師として、『超初心者のための情報発信』をテーマに、卓話いただきます。

4. 10月26日 1527回職業奉仕担当例会は、2600地区RLI委員長 塩尻北RC様に『ロータリーと私』(仮題)をテーマに、卓話いただきます。

②納涼例会決算について

クラブ奉仕委員長より、納涼例会決算の報告がありました。

③地区大会について

10月14日(土)～15日(日)に、長野のホテル国際21で地区大会が開催されます。参加の可否を、10月4日までに事務局にFAX願います。

④10月21日(日)『諏訪市の子どもたちと湖上観察会』が、開催されます。詳細は後日担当の委員会より連絡いたします。多くの会員のご協力をお願いします。

皆さんこんにちは、本日のお客様をご紹介いたします。

宮野孝樹(みやのたかき)様です。プロフィールを拝見させていただいた時、諏訪の地に、子供達、青少年のために、このような素晴らしい活動をされている方がおられる事に感動いたしました。



皆さんも、今月のロータリーの友9月号で、“いじめのない社会をめざして”と題されたストーリーが、トップページから掲載されていることをご存知だと思います

私は、三度ほど読み返してみました。直接当事者でない私でも、その状況を推察するに、胸が痛くなるような内容であることに、驚きを通り越し怒りがこみあげてきました。被害を受けたお子様を持たれた親御様の心中を察するに余りあります。

いじめの被害者にはならず、加害者にもならず、傍観者であってはならない、と文中ではいっています。では“いじめ”をなくすにはどうすればいいのだろう。

自戒を込めて、マハトマ・ガンジーのことばをかみしめてました。「子供は真実を映し出す鏡である、彼らには奢りも、敵意も、偽善もない。もし思いやりに欠け、嘘つきで乱暴な子がいたなら、罪はその子にあるのではなく、両親や教師や社会にあるのだ」

青少年育成に心を注がれている人々や、教育者にとっては“いじめをなくす”とは永遠のテーマなのではないでしょうか。後ほどの、宮野様の講演に期待いたします。

私の愛読している新聞に『朝の詩』という小さなポエムコーナーがあります。その中で気に入った作品をご紹介します

〈品には 三つの口がある 三つの口を開くなら 一口開いて人をほめ 二口目にはやさしさを 三つ目の口にはありがとう 三つの口がととのえば 品が備わる おのずから〉

♪出席報告	♪ニコニコBOX	♪今週のことば
会員数 37人	4名 11,000円	誕生を祝っていただきありがとうございます。尾上正弘 宮野さん、今日は、わがクラブに来て頂きありがとうございます。私は松本行きで欠席です。思う存分お話し下さい。小林聖仁 本日は宮野先生お忙し中講師をありがとうございます。先生は蓼科保養学園からお世話になっております。今日の例会では
出席対象 37人	累計 127,000円	
出席者数 27人	目標額 60万円	
出席率 73.0%	達成率 21.1%	
前回修正 89.2%		

♪今週のことば～続き～

子供たちの現状の話しを楽しみにしております。よろしく願い致します。森山 広
宮野孝樹様、本日はありがとうございます。青少年奉任に関わる重要なお話に期待いたします。よろしく願い致します。会長 高山 巖



2017-2018年度 国際ロータリーテーマ

ロータリー：変化をもたらす

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

ウィークリーの原稿送付先: pr@suwakorc.net

会長挨拶～続き～

☆幹事報告

⑤ロータリー財団・米山奨学会寄付金を、8月から11月まで募ります。財団100ドル、米山10,000円が今季の目標金額となりますので、ご協力をお願いします。
 ⑥2019-2020第35期理事・役員指名委員会構成について、8名の委嘱委員が理事会にて承認されました。10月に候補者指名委員会を設置します。11月の理事会で承認、12月の年次総会にて決定します。
 【受領文書】
 今週は特にありません。

♪今週の自己PR♪
 ～自分の時間
 楽しい趣味～

楽しく感じる時間は、京都や金沢など日本の伝統的な町並みを歩いたり、日本の伝統工芸にふれている時です。クラシックやウインドオーケストラを聴きに行くのも好きです。
 小泉千恵子



次は私がお中元として差し上げた『鯉節』に対する御礼のハガキです。

「こんにちは。また、結構なお品物を頂戴致しましてありがとうございます。

喜んで、只、ただただでは鯉にも申し訳ありませんので、今回学ばせていただくことにします。

鯉は、削られてこそ人間の役に立っています。反面人間は、身を削る思いで生きるのは苦しいことです。

鯉は、そこで学べと言います。苦しさだけに注目せず、身を削ってもなお誰かの役に立つなら、労苦も充実した喜べるものになりはしませんか…と。ナルホド 鯉の言うことは確かかもしれませんね。まあ、鯉は余暇が無くとも元気で泳ぎますが、知性を持つ人間は仕事と余暇とのバランスを取る必要はあります。ある書物には秘訣が書かれていました。『一握りの憩いは二握りの骨折り…に勝る』

高山社長様も余暇をお大切に御身削られお過ごし下さい。（失礼いたしました）」

このハガキをいただいたのは、すてきな女性からですが、私・高山の知性のなさを心配しながら、あまり頑張らなくて仕事をしないでいいよといっているようです。

詩も、はがきも、私にとってはホノボノとして意味深い宝物です。

ありがとうございました。



第1522回 青少年奉仕委員会 例会報告 青少年奉仕委員会 森山 広
 「子どもの声から見えてくる社会」・・・講師 宮野孝樹 先生

前回の青少年奉仕委員会の例会では、データ等を基に現在の子どもたちの置かれているインターネット社会やいじめ・貧困の状況について会員の皆様に理解をしていただく例会といたしました。そして今回の例会では、更に一步掘り下げ、子どもたちとのつながりのある現場にいらっしゃる方を講師としてお越しいただき話をさせていただきました。

宮野孝樹先生は、諏訪市役所に37年間在職し教育次長・経済部長・福祉部長を歴任され退職。その後、諏訪市社会福祉協議会の事務局長や現在では、長野県保護司会連合会常任理事・諏訪地区保護司会会長並びに諏訪市保護司会会長を務められており、特にNPO法人「すわ子ども文化ステーション」の「チャイルドラインすわ」（子ども専用電話）の運営委員長でもあり、今までの幅広い経験を生かし、子どもたちからかかってきた電話を子どもたちと一緒に考え、困難から新たな一歩を踏み出すきっかけを作る場にいらっしゃいます。

例会では「子どもの声から見えてくる社会」と題し会員の皆様に、チャイルドライン（子ども専用電話）の歴史と活動内容について相談件数や内容について

お話をお聞きしました。子どもたちから年間3千件を超える相談があり人間関係の相談が多いと話された。また相談件数も増える中、相談員不足も問題のようです。そして、その子どもの声から見えてくる社会の現実について「今、子どもたちの周りで起きていることは何があるのか」…その一つには格差社会と貧困が存在するそうです。

相対的貧困率が高まっている事実があり、子どもたちは貧困から抜け出せない現実が存在するようです。塾にも行けないなど家庭環境の貧困格差が増えているようです。また、近年虐待が増えている事実もお話されました。私たちはこの現場からのお話を聞き、どのようなことを感じて頂いたでしょうか？

私も12歳の思春期の子を持つ親として感じたことは、親でもなく、先生でもなく友達でもない、NPO法人「チャイルドラインすわ」の相談員に年間3千件もの相談（自分の声を聞いてもらいたい…話をしたい）をする子どもがいる事実と他人（相談員）によって救われている子どもたちがいるという事実があるということを感じました。私たちが子どもの頃にそんなことを考えたことはなかったと思います。現代の子どもたちの心の居場所なののでしょうか。また、格差社会とは聞くものの、その存在は私たちの目には見えないものの、子どもたちに大きく影響している事実であることを知りました

今後も青少年奉仕委員会では、現状の子どもたちの様子を知り、今後の青少年奉仕活動の考え方の一端となればと思っております。ご協力よろしくお願いたします。

